

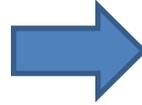
自撮りで授業を自己分析 ～頑張っている子も見えてくる～

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

自分の授業を人に観られることや、人から指摘を受けることに抵抗を持つ先生も多いかと思います。私は数年前に先輩から自分で自分の授業を自己分析することを勧められ、タブレットを使い定期的に授業を録画しています。人の意見を気にせず短時間で授業分析ができるためとても効果的です。

<岩崎が目指す授業>

- ①テンポが良くて淀みがない
- ②どの子にも活躍の場が保証されている
- ③精一杯運動できている
- ④肯定的な雰囲気がある（肯定的フィードバック他）
- ⑤「できない」が「できる」に変わる 他



結果は如何に

分析結果 (運動学習 21:30 認知学習 8:30 学習指導 7:00 マネジメント 8:00)



体育館入場 挨拶チェック



いつも A さんが素早い



A さん待つこと 1:30 で挨拶



動画でめあての確認



準備開始



キビキビの B さん◎



チームごとに高跳び



子どもを集め再度めあての確認



各場所で教え合いが活性化



C さんのアドバイスで D さんが上手になる



C さんと D さんの学びを全体の前で称賛



給水の後



ダンボールテニスへ

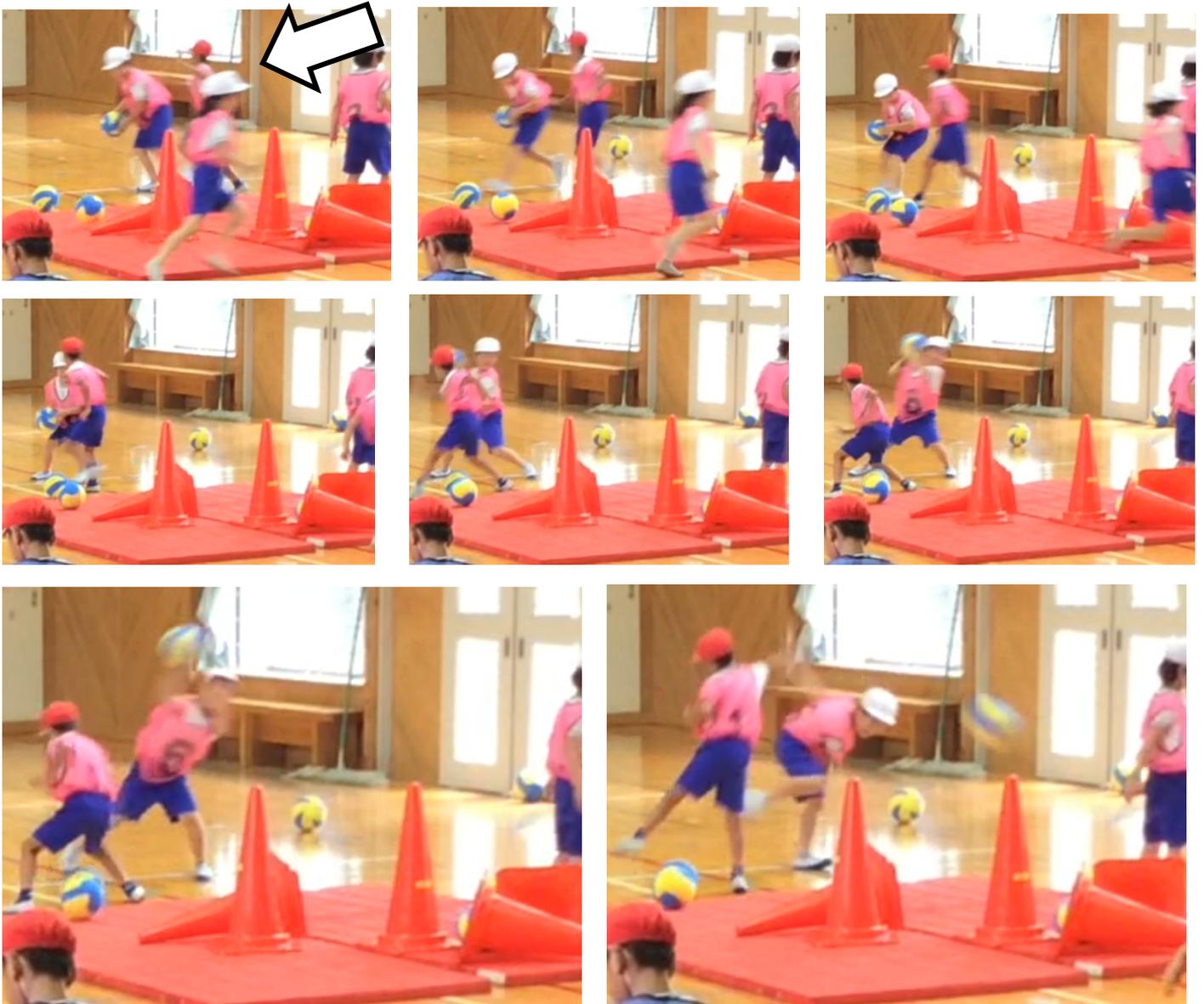


こんな感じでさらっと分析

自分の姿や癖を見るのに慣れましたが、分析するたび自分の視野の狭さを痛感します

一学期に褒める機会が少なかったと岩崎自身が反省していた2年生の E さん。シュートボールの最初の授業でタブレット内に相手を振り切ってシュートを打つシーンが録画されていたため、授業のまとめでスロー再生、一時停止を使いながら全員の前で見て評価しました。

<授業のまとめに使った動画>



一人の肉眼で全ての子どもを毎時間評価することには限界を感じています。今回は45分の授業内に E さんのプレーを紹介（称賛）でき、私としては納得のいく授業となりました。

今の私に、ICTは授業で不可欠なものです。自分の授業の評価、そして子どもたちの評価をいつも手助けしてくれています。



岩崎の「三種の神器」 タブレット・プロジェクター・レーザーポインター